

# 談話室

## 『新しい交通基盤の有無は、地域の盛衰を決する』 ～ 空港のある静岡県へ向けて ～

### 5 今なすべきこと

本格的な大交流・大競争時代を迎える中、全国各地や世界と直結する航空路がないことにより、静岡県の国内外における競争力は低下していきかねません。受け皿である空港のある県とない県の格差は、将来、歴然とついてきます。

今のままでは、静岡県民は、東京や名古屋を経由しなければ、空路を利用できません。この状態を将来にわたって放置することが静岡県の将来にプラスとなるのでしょうか。仮に空港建設を中止したら、静岡県の経済は将来良くなり、または活力が生まれるのでしょうか。この疑問に答える、説得的なデータ、論拠は何も示されていません。

昨今、公共事業に対して、一律に日本の将来に負担を残すだけかのような論調が目立ちます。しかし、公共事業により整備される社会資本は、産業の生産力や生活の利便性を向上し、長期的に経済の成長力を高めていく効果等を有するものがあります。

我が国や静岡県の将来の経済、社会の在り方を考えたとき、静岡空港は、まさにこのような観点からも必要な社会資本であり、空港の波及効果として県の経済力が良いコンディションを保つことにより、福祉や医療、教育等の行政サービスが充実するなど、その果たす役割は大変大きいと考えています。

今こそ、大局的な視野にたって、静岡空港の活用方策や、空港を生かした地域づくりなどの具体化に向けて、我々は精力を注ぐべきではないでしょうか。

静岡空港を成功に導くため、静岡空港戦略プロジェクト会議で検討していただいた3つの重点戦略の具体化、実現をはじめ、空港の利便性向上等に、静岡県は全力で取り組みます。

### 静岡空港を成功に導く3つの重点戦略

- 1 空港経営の民活化  
民営化による効率的な空港運営  
→着陸料の引き下げ、サービスの向上
- 2 国際航空貨物輸送の拠点化  
・国内物流の集約基地の可能性  
・国際航空物流のビジネス展開への期待
- 3 国際産業戦略とこれに対応した空港政策

県民の皆様、経済界や各種団体の関係者の方々が、それぞれの立場で、空港の活用や空港を生かした地域づくりに前向きにチャレンジしていただくことにより、静岡県の将来の道が拓けてきます。

静岡空港開港に向けて、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

---

#### [《トップページ》](#)

- [1 改めて静岡空港の意義](#)
- [2 需要予測を巡る議論](#)
- [3 時代の主流となる交通基盤の有無は、地域の盛衰を決する](#)
- [4 残された用地の解決に向けて](#)
- [5 今なすべきこと](#)

---

[談話室](#)

[知事室トップページ](#)